

交野市教委ニュース

第61号 (平成29年5月11日発行)

学校給食の充実と食育の推進

交野市では、児童・生徒の健やかな成長を支えるため、安心・安全で美味しい給食の提供に努めています。また、児童・生徒が自らの健康について考え、食に関する知識と望ましい食習慣が身につくように様々な啓発活動を行っています。

学校給食センターの見学もその一環であり、5月9日(火)には、藤が尾小学校の2年生の見学がありました。

児童にとっては、自分たちが食べる給食がどのように調理されているかを知る絶好の機会となり、給食センター職員の説明に興味深く耳を傾けていました。

今年度は、大阪府による栄養教諭の加配があり、藤が尾小学校にも栄養教諭資格をもつ職員が配置され、これまでの3名の栄養教諭とともに活躍しています。

市教委としても、子どもたちの食に対する関心が一層高まり、実りある食の指導が実践されるよう、学校と給食センターとの連携を密にしていきたいと考えています。

～給食ができるまで～



一度に大量の野菜を洗ったり切ったりする様子を見て、児童たちは大きな歓声をあげていました。「あれがもうすぐ学校に届くのか」「早く食べたいな」と、素直な感想を言い合っていました。給食センター職員からは、「残さずしっかり食べてくれることが一番ありがたい」との話がありました。

～スケールの大きさに驚きました～



大きな調理器具や食器洗浄の機械を見て、スケールの大きさに改めて驚いた様子でした。また、作業場に入る前には、衣服についたほこり等を払う「エアシャワー」を体験し、衛生管理の大切さについても実感を深めた様子でした。